

麻雀を教えるって、どうやって？

役にはいろんな形があることはいままでのお話でご理解頂けていると思います。

今回お伝えしたい役は『刻子系』の役ですね。役を伝える時にはいろいろな伝え方がある。

「麻雀を楽しむスムーズに覚えてもらうためにはどうすれば？」

この連載は麻雀教室の開講をお考えの営業者に、現役麻雀講師が持つスキルのすべてを大公開！連載第12回目からは『刻子系』の役を教えます！

とは思いますが、よくあるのは翻数別に伝える方法ですね。しかし私は、翻数通りに伝えるというよりは、

●見た目は派手だが作るの難しい『刻子系』の役
私の伝え方は、**出現頻度と重要度順**です。

てもらうほうが麻雀というゲームと向き合いやすいのではないかと考えているからです。

そんな中、ここまで『刻子系』の役に触れてこなかったのにはもちろん理由があります。

以前組み合わせ(メソッド)の作り方の説明をする時に、『刻子』と『順子』では『順子』の方が圧倒的に作りやすいという話をしましたよね。

やはり『刻子』より『順子』の方が作りやすいだけに、出現頻度もまったく異なりま

より、出現頻度の高い役をしつかりと学んだ方がいいですね。また、『刻子系』の役は見た目が派手なことが多く、どうしても作ってみたい、作りた

でもやはり、『刻子』と『順子』では『順子』の方が作りやすいということをしつかりと再確認してもらうことが大切ですね。

その上で役の説明に入るのですが、ちょっとその前に用語の説明です。

『刻子』には大きく分けて2種類の『刻子』があるのです。それは、『暗刻(アロンコ)』と『明刻(ミンコ)』です。

『暗刻』は自分の力で作った『刻子』で、『明刻』は他の人の力を借りて作った『刻子』なのです。『明刻』に関しては、『刻子』が『明刻』だと勘違いしている人が多いので、その部分についてしつかりと理解してもらってから進むようにしてください。

『ポン』した『刻子』も『明刻』であることは間違いありません。しかし、『明刻』はそのパターンだけでは

合があります。ですので詳しく説明すると、

ポンした『刻子』やロンした『刻子』が『明刻』。自分で3枚揃えた『刻子』が『暗刻』ということなので、

『三暗刻』は『暗刻』が3組ある形ですね。9枚で作る部分役だ

『三暗刻』から『四暗刻』このタイミングで『役満』の説明を！

ここでこの手を更に発展させます。『順子』部分を『刻子』に置き換え、いわゆる『ツモリ四暗刻』の形を

ようにしましょう。雀頭は何でもいいですが、もう1つのター

『三暗刻』は『暗刻』が3組ある形ですね。9枚で作る部分役だ

『三暗刻』から『四暗刻』このタイミングで『役満』の説明を！

ここでこの手を更に発展させます。『順子』部分を『刻子』に置き換え、いわゆる『ツモリ四暗刻』の形を

記すことが大切です。2つ『暗刻』が完成して

《ツモリ三暗刻》の形を理解してもらった後、「このツモ牌が

『三暗刻』は『暗刻』が3組ある形ですね。9枚で作る部分役だ

『三暗刻』から『四暗刻』このタイミングで『役満』の説明を！

ここでこの手を更に発展させます。『順子』部分を『刻子』に置き換え、いわゆる『ツモリ四暗刻』の形を

アガリ牌のころは『ツモ』と書き換えておきます。

から「四暗刻だ！」という回答をするはず

麻雀の『役』の中で一番高い役、それが『役満』です。

『三暗刻』は2翻です。多くの場合は門前だと50符です

『三暗刻』は2翻です。多くの場合は門前だと50符です

より遥かに難しいことをここで再確認してもらい、『刻子』を作る

『暗刻』、1つの『明刻』だから、どうなるのでしょうか？

『三暗刻』は2翻です。多くの場合は門前だと50符です

『三暗刻』は2翻です。多くの場合は門前だと50符です

より遥かに難しいことをここで再確認してもらい、『刻子』を作る

増やすことの難しさを理解してもらいたいところ

『暗刻』、1つの『明刻』だから、どうなるのでしょうか？

『三暗刻』は2翻です。多くの場合は門前だと50符です

『三暗刻』は2翻です。多くの場合は門前だと50符です

より遥かに難しいことをここで再確認してもらい、『刻子』を作る

増やすことの難しさを理解してもらいたいところ

してくるはず。しかし、私はそのような声を掛けることは決してありません。

『三暗刻』は2翻です。多くの場合は門前だと50符です

『三暗刻』は2翻です。多くの場合は門前だと50符です

より遥かに難しいことをここで再確認してもらい、『刻子』を作る

増やすことの難しさを理解してもらいたいところ

して、門前で順子を作っていくことの方が大切

『三暗刻』は2翻です。多くの場合は門前だと50符です

『三暗刻』は2翻です。多くの場合は門前だと50符です

より遥かに難しいことをここで再確認してもらい、『刻子』を作る

増やすことの難しさを理解してもらいたいところ

何故かという、翻数通りに伝えると、なかなか出現しない役を覚えることになってしま

より、出現頻度の高い役をしつかりと学んだ方がいいですね。また、『刻子系』の役は見た目が派手な

『ポン』した『刻子』も『明刻』であることは間違いありません。しかし、『明刻』はそのパターンだけでは

そして『暗刻』と『明刻』の違いを理解してもらったあと、牌姿を

記すことが大切です。2つ『暗刻』が完成して、シャンポン

アガリ牌のころは『ツモ』と書き換えておきます。そして更に生徒さん

より遥かに難しいことをここで再確認してもらい、『刻子』を作る

増やすことの難しさを理解してもらいたいところ

『三暗刻』は2翻です。多くの場合は門前だと50符です

より遥かに難しいことをここで再確認してもらい、『刻子』を作る

増やすことの難しさを理解してもらいたいところ